

# はんそうほう いろいろな搬送法①～⑧

## 目次

### 【ひとりで搬送】

① しじはんそう 支持搬送

② せおはんそう 背負い搬送

③ はいぶ こうほう いどう はんそう ぜんくつはんそう 背部から後方に移動させる搬送 (前屈搬送)

④ もうふ りょう はんそう 毛布、シーツを利用する搬送

※ もうふ の ほうほう 毛布に乗せる方法

### 【ふたりで搬送】

⑤ いす しょう はんそう 椅子を使用した搬送

⑥ ぜんくつ はんそう 前屈二人搬送

⑦ む だ はんそう 向かい抱き搬送

⑧ もうふ けいついこていきゅうじょほう 毛布を使った頸椎固定救助法

はんそう  
【ひとりで搬送】

しじはんそう  
① 支持搬送



かいせつ  
【解説】

しょうびょうしゃ がある ばあひ かたあし けいしょう お ばあひ  
傷病者がなんとか歩ける場合又は片足に軽傷を負った場合は、

しょうびょうしゃ まつばづえが うで かた まわ ささ はんそう  
傷病者の松葉杖代わりに腕を肩に回して支えながら搬送します。



はこ ひと ほう がわ あし く  
運ぶ人の方に、ケガをした側の足が来るようにします。

## ② せ お はんそう 背負い搬送

### かいせつ 【解説】

ある 歩くことができない人を搬送する場合の搬送法です。

しょうびょうしゃ てくび むね まえ 傷病者の手首を胸の前でしっかり持って搬送します。

ドアをあ

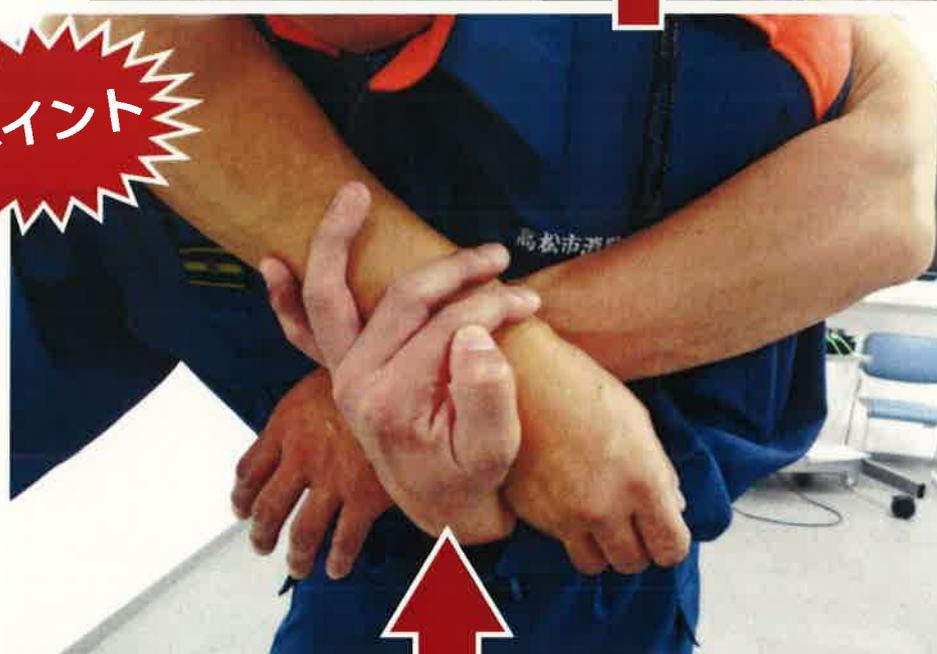
しょうがいぶつ うご 障害物を動かしたりす

るために、かたて あ 片手は空けて

おきましょう。



ポイント



しょうびょうしゃ こうさ 傷病者の手を交差させた部分を、片手でしっかり持ちます。

### ③ 背部から後方に移動させる搬送 (前屈搬送)

#### 【解説】

自分で歩けない場合や、搬送者より傷病者の体が大きい場合で、

早く安全な場所に移動させたいときに有効な搬送方法です。

傷病者の両脇の下から両腕を差し込み、片腕の手首と肘のあたりを握り、

後方へ引きずりながら搬送します。



(1) 倒れている人の上体を

後ろから起こします。



(2) 腕をつかんで、そのまま後ろに

引きずっていきます。



傷病者の片手 (前腕) を、

両手で持つようにします。

## ④ もうふ・りょう・はんそう毛布・シーツを利用する搬送

### 【解説】

じぶん ある しょうびょうしゃ はんそうしゃ しょうびょうしゃ  
自分で歩けない傷病者や、搬送者より体が大きい傷病者に対して、  
ていど きょり はんそう さい ゆうこう はんそうほうほう  
ある程度の距離を搬送する際に有効な搬送方法です。

ぬの ぜんしん つつ あたま ほうこう ひ ば いどう  
布やシーツで全身を包み、頭の方角に引っ張って移動させます。



- (1) しょうびょうしゃ もうふ たいかくせんじょう  
傷病者を、毛布の対角線上に  
ね  
寝かせます。



- (2) もうふ かたがわ しょうびょうしゃ  
毛布の片側を傷病者に  
ま つつ か  
巻き付けるように掛けます。



- (3) はんたいがわ か  
反対側も同じように掛けます。



- (4) あたま ぶぶん かど  
頭の部分の角を  
ま  
クルクルと巻きます。



もうふ の ほうほう  
※毛布に乗せる方法

④の搬送法を行う前などに、<sup>はんそうほう おこな まえ</sup>傷病者を毛布の上の<sup>しょうびょうしゃ もうふ うえ の</sup>ほうほう



(1) もうふ <sup>はんぶん</sup>を半分くらい丸めて  
<sup>しょうびょうしゃ からだ そくめん そ お</sup>傷病者の体の側面に沿って置  
きます。



(2) <sup>しょうびょうしゃ からだ まよこ む</sup>傷病者の体を真横に向けるよ  
うに<sup>お</sup>起こして、そこに<sup>もうふ ひきよ</sup>毛布を引き寄せ  
ます。



(3) <sup>しょうびょうしゃ からだ もと もど</sup>傷病者の体を元に戻したら、  
<sup>からだ した し</sup>体の下に敷きこんでいる部分を  
<sup>はんたいがわ ひ ぱり だ</sup>反対側に引っ張り出します。



# 【ふたりで<sup>はんそう</sup>搬送】

## ⑤ <sup>いす</sup>椅子を使用した<sup>はんそう</sup>搬送

### 【解説】

傷病者を椅子に座らせて、搬送する2人が椅子の背もたれと座面を左右両側で支えて搬送する方法です。



(1) 持ち上げて運ぶ2人の手が交差する

ように椅子の背もたれを持ちます。

(2) 背もたれがない場合は座面のうしろを持ちましょう。

(3) 持ち上げる時はしっかりと腰をおとし、2人でタイミングをあわせましょう。

(腰が曲がった状態で持ち上げると腰を痛める原因になります)

⑥ <sup>ぜんくつ</sup> <sup>はんそう</sup> 前屈二人搬送

【解説】

1人は、③の「<sup>はいぶ</sup> <sup>こうほう</sup> <sup>いどう</sup> 背部から後方に移動させる搬送（<sup>はんそう</sup> <sup>ぜんくつはんそう</sup> 前屈搬送）」の要領で、<sup>しょうびょうしゃ</sup> 傷病者の腕を保持します。もう1人は<sup>しょうびょうしゃ</sup> <sup>りょうあし</sup> <sup>こうさ</sup> <sup>かか</sup> 傷病者の両足を交差させて抱えます。

<sup>かいだん</sup> <sup>はんそう</sup> <sup>ゆうこう</sup> 階段などの搬送に有効です。



## ⑦ 向かい抱き搬送

### 【解説】

搬送する2人は傷病者の左右に立ち、互いに傷病者の脇に首を入れ、

片方の腕を背部に通して傷病者の衣類やベルトなどを握ります。

もう一方の腕で互いに傷病者の膝の裏を抱えて腕を握り合います。

階段などの搬送に有効です。



### ポイント



持ち上げる前に

傷病者の両腕を

運ぶ2人の首の後ろに

それぞれ回します。

⑧ <sup>もうふ</sup>毛布を使った<sup>けいついこてい</sup>頸椎固定救助法

【解説】 <sup>かいせつ</sup>毛布の<sup>もうふ</sup>対角線<sup>たいかくせん</sup>を持って<sup>ま</sup>クルクル巻いていきます。

<sup>つぎ</sup>次に巻いた毛布の<sup>ま</sup>真ん中<sup>なか</sup>を、<sup>しょうびょうしゃ</sup>傷病者の<sup>くび</sup>首の<sup>うし</sup>後ろ<sup>あ</sup>に当てて、<sup>くび</sup>首の前<sup>まえ</sup>で<sup>こうさ</sup>交差<sup>わき</sup>してから脇の下<sup>と</sup>を通<sup>とお</sup>します。そして上<sup>ひ</sup>に引<sup>ひ</sup>っ張<sup>ば</sup>ります。

このようにすれば、<sup>がれき</sup>瓦礫<sup>ひ</sup>の中から引<sup>ひ</sup>っ張<sup>ば</sup>り出す時にも<sup>けいつい</sup>頸椎<sup>いた</sup>を痛<sup>いた</sup>めません。また、<sup>じこ</sup>事故

<sup>しゃりょう</sup>車両<sup>きんきゅうきゅうしゅつ</sup>からの緊<sup>お</sup>急<sup>よう</sup>救<sup>よう</sup>出<sup>よう</sup>にも応<sup>よう</sup>用<sup>よう</sup>できます。

